

生活困窮者の「入口」と「出口」を支えて

～就労支援を考える～

生活困窮者支援は、広く社会的孤立の支援を理念としています。日本には現在、100万人を超える「ひきこもり」の方がいると推定され、特に中高年層の間では、退職や「就職氷河期」が引き金になったというケースが少なくありません。就労に関わる様々な支援機関の状況や連携について、現場の最新の動向を踏まえながら、「入口」あるいは「出口」としての「就労支援」を考えます。皆様のご参加をお待ちしております。

2月23日（日）
13：30～16：00
(13：00 開場)

会場

兵庫県福祉センター
神戸市中央区坂口通 2-1-1

第1部 基調報告

日本社会福祉士会 生活困窮者支援委員会委員

近藤 健太さん（本会会員）

第2部 パネルディスカッション

「入口支援」と「出口支援」としての「就労支援」を考える

神戸市長田福祉事務所 近藤 健太さん

芦屋市社会福祉協議会 相談支援係係長 三谷 百香さん

神戸障害者就業・生活支援センター 主任就業支援担当者 畑中 浩成さん

NPO 法人ウィークタイ代表理事 泉 翔さん

コーディネーター 兵庫県社会福祉士会生活困窮者支援委員会 委員長 谷口 智昭

定員 80 名
参加費 無料
資料代 1,000 円

お申し込み：p 47 の共通申込書に必要事項を記入の上、本会事務局までメールまたは FAX でお申し込みください。

お問い合わせ：兵庫県社会福祉士会事務局 TEL 078-265-1330

後援（依頼中）：兵庫県、兵庫県社会福祉協議会